

標本棚

私

と



害虫

なぜネズミが地球上ではびこっているのか

元木 貢

人類の祖先は六千五百万年前にネズミから分岐したと言われています。なぜネズミはあまり変わらずに現在まで生き残ったのでしょうか。そのヒントを世界的な衛生動物学者の佐々学博士が著書「熱帯への郷愁」の中に書かれています。



東京大学医科学研究所のネズミ小屋

ねずみ駆除協議会の依頼により、当時教授をされていた東京大学医科学研究所の敷地内にネズミの研究施設を作った。ドブネズミの繁殖を観察された。「一九七二年六月、ドブネズミの雄三頭、雌一頭を放したところ、雄の間に闘争が始まり、生まれた七頭は二、三日のうちにみんな親に食べられた。その後、雄は次々殺され、数回出産しても子ども全て食べられてしまった。」

一番強い雄が残る、その後に出産された十一頭はすべて育つていったが、雄子ネズミは強く大きい順に雄親に殺されていった。雌はみんな一年以上生存して、一九七三年正月には、最高の五十五頭にまで個体数が膨張した。飽和状態になると、その後は雌同士の間にも出産と育児のための巢の確保という目的で、優秀の順位がつき、原則として最上位の雌だけが子を育てられる。どの雌ネズミにも出産がみられない、一九七四年四月末には雄同士、雌同士の闘争の末、二十六頭になってしまった。

ノミバエは「コーヒー」が大好き?

元木 典子

今年の夏、いつの間にか我が家にコバエが飛び始めました。以前、何日か家を留守にして帰宅したところ、醤油差しにコバエがぎっしりと飛び込んで出られずに入っていました。そのことを思い出し、醤油差しに醤油をいれて旅行に出かけましたが残念ながら一匹も入っていませんでした。夫に「何が原因で発生するの?」と聞いたところ、「腐敗したものがあると発生するよ」と。そこで、はたと思い出したものがありました。

昨年十二月に長芋を箱で頂いて、使い切らないまま、その箱を納戸に入れて放置していました。慌てて覗いてみると箱の隙間からコバエがたくさん出ていたので、急いで箱ごとゴミ袋に捨てました。

それ以外の家中の生ごみも捨て終わり、これ原因はすべて無くなったと安心。ほっとしたところで一杯のドリップコーヒーを入れて一休みです。ところが、そのコーヒーのかすをゴミ袋に捨て、しばらくすると、一匹も見えなかったコバエが、次々とコーヒーのかすに集まってきました。もちろんコーヒーのかすは腐敗などしていません。コバエはコーヒーの香りが好きなの?と正直びっくりしました。



原因のコバエ (Ipadマクロレンズで撮影)

その後、最終的にはヨーグルト味噌漬けが、香りと粘度でたくさんコバエ達を駆除してくれました。

江戸城築城の秘話(その六)

御茶ノ水の神田川は人工の外堀

江戸文化歴史研究員 窪田 孝

神田川は井の頭池に源を発し、飯田橋付近から南下して、平川として日比谷入江に入っていたが、江戸の町つくりのための入江埋め立て、洪水対策に支障をきたしていた。

一方、北方の本郷台の防衛対策が必要であったため、元和二年(一六一六年)より、神田山を掘削、本郷台を貫く外堀運河として、平川の流れをかえ隅田川につなげた。神田川整備工事は元和年間より、仙台的の伊達家により掘削がはじまっているが、



日比谷入江 (想像図)

平川は日比谷入江に流れ込んでいた。神田川整備工事は元和年間より、仙台的の伊達家により掘削がはじまっているが、

日常生活の景色に見るタイムカプセル

新環境建築研究所 代表 新明 健

武蔵金沢の地は、現代社会の風潮である少子高齢化、人口減少社会の中で、例えなく高齢化が進み、空き家問題に悩む首都圏の郊外住宅地となりつつある。

昭和初期の人口、本来三万人程度の久良岐郡の寒村であったこの地域は、十三世紀の鎌倉時代、幕府の屋台骨を支えた対宋貿易の拠点、六浦湊を金沢北条、実時が支配した時代でもあり、その権勢で鎌倉文化を維持した地でもある。

中世から江戸期にかけて、風光明媚な地、金沢八景として多くの文化人が訪れた海と緑と文化のある景色の良い地形が永く温存されてきた。

近世、日本海軍横須賀鎮守府に隣接することから、軍需工場や軍施設が立地し、兵や軍属の増員が人口を七万人以上に膨れ上げ、終戦とともに、また人口は本来の五万人前後に回帰した。

羽音

掘削された神田川の深い谷には木々が生い茂り、蜜狩りの名所、溪谷として知られた随一の景勝地として、とても人工の谷とは思えないのどかな雰囲気を出していた。



神田川の掘削 海抜十七メートルの神田山を掘削 放水路から舟運路へ

そして戦後復興とともに高度成長に向け、緑の自然地形を削り、海を埋め立て、ピーク時には人口は二十万人にも達した。今となつては、空き家に悩む丘の上の高齢化の進む住宅街が、依然、整然と立ち並ぶ一角、金沢八景の風景を微かに偲び、鎌倉時代から残る金沢北条の居宅、称名寺の阿字ヶ池の庭に、再現した赤い太鼓橋が緑の谷戸に「タイムカプセル」のようにある姿に、今更の如く日常の生活に清涼な想いを馳せる風景がある。



太鼓橋が緑の谷戸に「タイムカプセル」のようにある姿に、今更の如く日常の生活に清涼な想いを馳せる風景がある。

祝! 創立70周年



70を人文字で作ってみました 玄関前で記念撮影→



記念のQUOカード

むしくいす

「問題」ヒント文字の中から一文字選んで四つの四字熟語を完成してください。残ったヒント文字で作れる四字熟語は何でしょう。それが答えです。

位	一	体	
五		霧	中
七	転		起
九	牛	一	
青	万	里	三
八	歳	毛	唱
ヒ			赤

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。〒105-0014 東京都港区芝2の23の4 アベックス産業(株)内 APEX CLUB宛 ファクシミリ番号 03-3455-6558 令和2年2月末日(当日消印有効) 正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。  
★前号の正解と当選者(順不同) 正解は『1』でした。 今回の当選者は、山内健生様一人でした。